

ベナンの歴史＝和解の歴史

奴隷貿易時代
約300年

植民地時代 66年

1960年フランスから独立

1975年 社会主義体制へ

1990年 国民会議・和解

民主主義国家の出発

1999年 和解と発展・国際会議

奴隷問題の歴史的和解

新しい時代の始まり



ケレク大統領

政府代表

1990年 国民会議

10日間の対話による民主化に成功

和解の成立！



ドゥスーザ大司教

全宗教者の代表
全国民の代表
精神性を象徴



ソグロ大統領



ケレク大統領



ヤイ大統領とローマ教皇

- 1994年 UNESCO「奴隷の道」プロジェクト、ベナンで開始
奴隷貿易の真実を明らかにする
ベナン奴隷海岸に「Gate of NO Return」建設
- 1996年 ケレク大統領再選
- 1999年 ケレク大統領、奴隷貿易問題に対しアメリカ黒人へ謝罪
和解と発展のための国際会議 奴隷貿易に関係した国々が新しい出発
- 2011年 ベネディクト16世教皇ベナン訪問
全アフリカに対して「和解・正義・平和」のメッセージ強調
- 2012年 ボニ・ヤイ大統領アフリカ連合議長に選出



国民会議における国民の和解

1. 政策選択の間違い＝事実認識

- 国家体制の崩壊
- 経済破綻
- 国民の混乱

2. 問題を自分自身のものでして真摯に客観的に認識

- 一人の心の葛藤の克服
- 国家元首自身が間違いを認める
- 正しい方向に向かう意志に従う

3. 愛国心

間違いを謝罪、赦しを請う

真理的要素

ベナン人の伝統文化

- 精神性を重んじる
- 赦しと寛容
- 長老を中心とした社会の構成
 - ・元大統領たちの役割
 - ・在外ベナン人の活躍



国家危機の克服

課題

和解成功の要因

和解と発展の働き 中心的3原則

1. 歴史上の事実を思い出す
2. 誤りを認める
3. 赦しあい、怒りの歴史を逆転させる



和解に不可欠な精神的要素

赦し

寛容

同意

一致

理解

対話

自己中心性の克服

心に平和の砦を築く

奴隷貿易問題の歴史的和解

1. UNESCO「奴隷の道」プロジェクト

- 人間の尊厳性に対する罪
- アフリカ人も奴隷売買に関与
- 単なる人種問題ではない
- アフリカ全土の混乱
- アフリカ発展の大幅な遅れ

2. 自分の先祖の問題を認識

奴隷貿易売買関係者の子孫

- 心の葛藤の克服
- 自分の先祖の問題を認める
- 先祖の罪を自分のものとして解決する

3. 先祖に対する愛情

先祖の間違いを謝罪、赦しを請う

真理的要素

キリスト教精神

- 信仰を基盤とした団体、伝統、実践
- 博愛
- 赦しと寛容

歴史的問題解決

宗教、性別、人種、信条を超えて全人類に適用するために
普遍的客観的真理が必要 (UNESCO憲章)